

| 国語総合 \ I(japanese) | | | | | |
|---|----------------------|------|--|------|------|
| 本科 | 選択・必修 | 開設時期 | 単位数 | 授業形態 | 担当 |
| 一般科目 | 必修 | 1年 | 4 | 講義 | 谷本圭司 |
| <p>【授業の概要】 「ことば」を用いたさまざまな表現形式を読み解くための、基本知識を習得していきます。習得していく過程で、さまざまな視点からの読み取りを考えることを学んでいきます。</p> <p>【授業の進め方】 前期は、現代文と古典を週に一コマずつ取り上げて読解していきます。後期は、現代文、古典を教材単位で交互に取り上げていきます。基本的には講義形式を取り、各時間の最初に漢字テスト(副教材を使用)を行います。教材終了後に簡単な小テストを行う場合もあります。学習シートは、復習用として、各試験の前に配付します。なお、試験後の最初の授業では、詳しい解説をしますので、必ず問題を持参してください。以下の授業計画については、1回を1週分として記述してありますので、注意してください。</p> | | | | | |
| 【授業の概要】 | 【授業項目】 | | 【内容】 | | |
| 1回 | ・授業についての説明・現代文 随想(一) | | ・授業の進め方についての詳しい説明をします。・「書きたい気持ちを大切にしたい」の講義を聞き、注意すべき点を理解する。 | | |
| 2回 | ・現代文 随想(一)・古典 古文入門 | | ・「書きたい気持ちを大切にしたい」の講義の続きと、構成という観点から考察する。・古文の仮名遣い、古語について知る。「児のそら寝」の内容を理解する。 | | |
| 3回 | ・現代文 随想(一)・古典 古文入門 | | ・「自立と依存」について、読解上注意すべき点を理解する。・「児の知恵」の内容を理解し、この話の意味について考察する。 | | |
| 4回 | ・現代文 随想(一)・古典 古文入門 | | ・「自立と依存」について、読解上注意すべき点を理解する。・文法について。古文を読むために1、2。 | | |
| 5回 | ・現代文 詩・古典 古文入門 | | ・詩はテキストの中から一～二編を選んで読解する予定です。(ここまでの授業において、学生の理解の程度、能力をはかった上で選択し、講義します。・「絵仏師良秀」の内容を理解する。 | | |
| 6回 | ・現代文 評論(一)・古典 古文入門 | | ・「水の東西」の講義を聞き、注意すべき点を理解する。・「絵仏師良秀」の内容を理解する。古文を読むために3。 | | |
| 7回 | ・現代文 詩・前期中間試験に向けて | | ・「水の東西」の講義を聞き、注意すべき点を理解する。・復習および試験にむけての学習内容の確認。(学習シート) | | |
| 8回 | 中間試験 | | 上記の範囲内から、基本的な事項を中心に出题する予定です。 | | |
| 9回 | ・中間試験の返却と解説・古典 随筆を読む | | ・中間試験の問題、模範解答の内容から、学習方法を含めた見直しをする。・『徒然草』についての解説。「つれづれなるままに」を読む。注意すべき点を理解する。 | | |
| 10回 | ・現代文 小説・古典 随筆を読む | | ・「羅生門」の全文を読む。・『徒然草』「仁和寺にある法師」を読む。注意すべき点を理解する。 | | |
| 11回 | ・現代文 小説・古典 随筆を読む | | ・「羅生門」について、読解上注意すべき点を理解する。・「神無月のごころ」を読む。注意すべき点を理解する。古文を読むために4。 | | |
| 12回 | ・現代文 小説・古典 物語を楽しむ | | ・「羅生門」について、読解上注意すべき点を理解する。・『伊勢物語』についての解説。「東下り」の講義を聞き、注意すべき点を理解する。 | | |
| 13回 | ・現代文 小説・古典 物語を楽しむ | | ・「羅生門」について、全体にわたっての考察をする。・「東下り」のまとめ。「筒井筒」の講義を聞き、注意すべき点を理解する。 | | |
| 14回 | ・古典 物語を楽しむ・前期末試験にむけて | | ・「筒井筒」のまとめ。・学習内容の確認を行う。(学習シート) | | |
| | 期末試験 | | ・14回までの範囲が試験範囲となる。 | | |
| 15回 | 解答返却など | | ・期末試験の問題、模範解答の配布を行い、見直しをする。(なお、夏期休業中の課題として、小説を対象としたrwポートを課す予定) | | |
| 16回 | ・現代文 随想(二) | | 「赤い頰をした動物」の講義を聞き、注意すべき点を理解し、考察する。 | | |

| | | | | | | |
|---------------|--|--|-------------|---------------|--------------|--------------|
| 17回 | ・古典 和歌 | ・和歌について知る。万葉・古今・新古今の三大和歌集について、それぞれの特徴について知る。・テキストの個々の和歌についての講義を聞き、注意すべき点を理解し、考察する。 | | | | |
| 18回 | ・古典 和歌・現代文 短歌と俳句 | ・上記の続き。・短歌、俳句について知る。短歌、俳句ともに、テキストより選んで、読解を行います。 | | | | |
| 19回 | ・現代文 短歌と俳句 | ・短歌、俳句について知る。短歌、俳句ともに、テキストより選んで、読解を行います。 | | | | |
| 20回 | ・古典 漢文入門 | ・漢文の基本について理解する。 | | | | |
| 21回 | ・古典 漢文入門・古典 漢文 故事成語「矛盾」 | ・漢文の基本について理解する。・「矛盾」の講義を聞き、注意すべき点を理解し、考察する。・ | | | | |
| 22回 | ・古典 漢文 故事成語「漁父之利」・後期中間試験に向けて | ・「漁父之利」の講義を聞き、注意すべき点を理解し、考察する。・ここまでの学習内容についての確認をする。(学習シート) | | | | |
| 23回 | 中間試験 | 15回から22回までの範囲から出題します。 | | | | |
| 24回 | ・後期中間試験の解説・古典 奥の細道 | ・中間試験の問題、模範解答の内容から、徹底した見直しをする。・「旅立ち」の講義を聞き、注意すべき点を理解し、考察する。 | | | | |
| 25回 | ・古典 奥の細道・古典 漢文 唐詩 | ・「旅立ち」の講義を聞き、注意すべき点を理解し、考察する。・唐詩について知る。テキスト所収の五首の順を追った講義を聞き、注意すべき点を理解し、考察する。 | | | | |
| 26回 | ・古典 漢文 唐詩・現代文 随想(二) | ・上記の続き。・「毎月新聞」の読解と考察。 | | | | |
| 27回 | ・現代文 評論(二) | ・「ものまね上手・創造上手の日本技術」の読解と考察。 | | | | |
| 28回 | ・現代文 評論(二) | ・「イースター島になぜ森がないのか」の読解と考察。 | | | | |
| 29回 | ・後期末試験にむけて | ・ここまでの学習内容について確認する。(学習シート) | | | | |
| | 期末試験 | 23回から29回までの範囲から出題します。 | | | | |
| 30回 | 解答返却など | ・期末試験の問題、模範解答の配布を行い、見直しをする。 | | | | |
| 【到達目標】 | 言葉を用いたさまざまな表現形式を読み取るための基本知識を獲得する。また、表現されたものを表面的にではなく理解するための、考え方の基礎を習得する。 | | | | | |
| 【徳山高専学習・教育目標】 | A2 | 【JABEE基準1(1)】 | | | | |
| 【評価法】 | 各期末に、中間試験と期末試験の相加平均(90%)漢字テストほかを(10%)として総合評価を行う。学年末は、原則として各期末の相加平均による。また、前期において、及第点に達しない者に関しては、追試を行う場合がある。なお、個別におけるレポートを、加点要素として扱う場合がある。 | | | | | |
| 【テキスト】 | テキスト 「高等学校 改訂版 標準国語総合」(第一学習社) 副教材 「漢字検定プラス」(桐原書店) 「新総合 国語図説」(東京書籍) | | | | | |
| 【関連科目】 | | | | | | |
| 【成績欄】 | 前期中間試験 【 】 | 前期末試験 【 】 | 前期成績 【 】 | 後期中間試験 【 】 | 後期末試験 【 】 | 学年末成績 【 】 |